



川野 信之

## 根管治療って知っていますか？ ～歯を残すために～

### 冷たいものがしみて

口の中には、たくさんの種類の細菌が存在します。その中で、歯に対して悪さをする細菌は2種類います。1つは、歯槽膿漏を起こす細菌ともう一つはミュータンスと呼ばれる虫歯菌です。これは、歯の表面にくっついて、歯を溶かす酸を出します。歯が溶かされていくとだんだん穴が深くなって、神経に近くなります。すると、冷たいものがしみてきます。

### 根っこの先に膿。根管治療開始。

ここで歯医者さんに行かないと今度はその神経が死んで（壊死）しなくなります。一旦治ったかのように思われますが、実は虫歯菌によって神経が死んでしまって、根っこの先に膿となって溜まっています。この時期の症状として、噛むと違和感があります。このままでは、虫歯菌つまり細菌がどんどん増殖します（図1-①）。

細菌の繁殖している歯の内部つまり根管を掃除し細菌を除去します。根管治療の開始です。まず、根管（歯根）の長さを測り、傷めないよう細心の注意を払って、壊死した神経と感染している細菌を取り除いていきます（図1-②、写真1-①）。

そして、空になった根管を薬液で洗浄し根管を殺菌します（図1-③）。

殺菌した根管に再感染しないように根管に薬を貼薬し、仮のフタをします（図1-④）。

膿などの炎症がないことを確認後、根管に詰め物をします。ゴム状の詰め物（ガッタパーチャ）を歯根の先端までしっかりと詰めていきます（図1-⑤、写真1-②）。

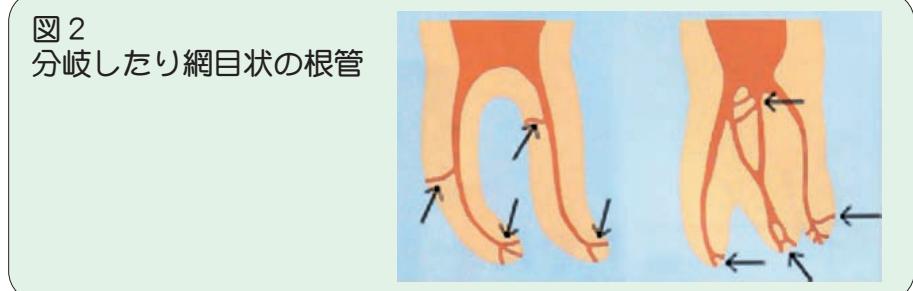
やっと9月になりました。ほっとする方も多いでしょうが、昨今の異常気象の影響による残暑、台風、大雨などには注意しておきたいですね。

さて今月は特別号ということでテーマは根管治療、相模原市の急病診療体制、蓄膿症の3本です。歯がしみませんか。もしそうであれば早めの治療が必要です。これが根管治療です。今回の根管治療をお読みください。急に熱がでたとか、腹痛がひどいなどで急病診療を希望する方は、是非参考にしてください。蓄膿症（副鼻腔炎）は顔にある空洞に膿がたまり、濃い鼻みずや鼻づまりが持続します。ここに書かれてある事は同じような症状がある方には大変役立ちます。

詰め終わったら最終のフタをします。これで歯根の治療いわゆる根管治療は終了です。被せ物が必要な場合は、次にクラウンやブリッジを被せる治療になります。

### 根管治療は難しい。けど歯を残すための治療。

では、なぜ根管治療が難しいのでしょうか？  
神経の通っている管つまり根管は、小さな歯のなかで細かく枝分かれしているため、感染を起こしている細菌をくまなく取り去るということは、非常に困難なのです。私たち歯科医師は金属でできた極細の器具（図1-②参照）“ファイル”というもので根管の中の繁殖している細菌を根気よく取り除いていきます。まず大変なのが、この根管の入り口が様々の場所にあり本数も十人十色で個性的です。そして見つけ出した根管は、素直に一筋に伸びているとは限りません。曲がったり、分岐したり、網目状に広がったり複雑な形をしていることのほうがむしろ多いのです（図2）。

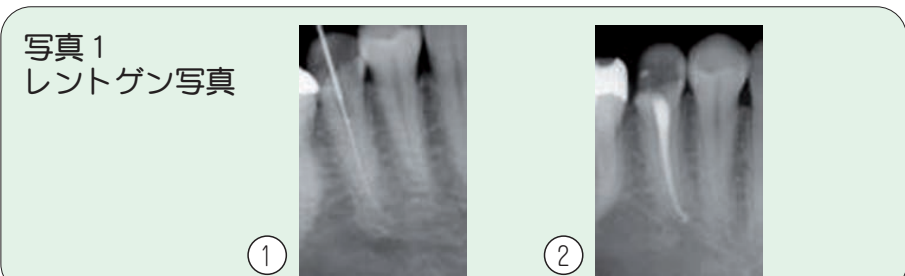
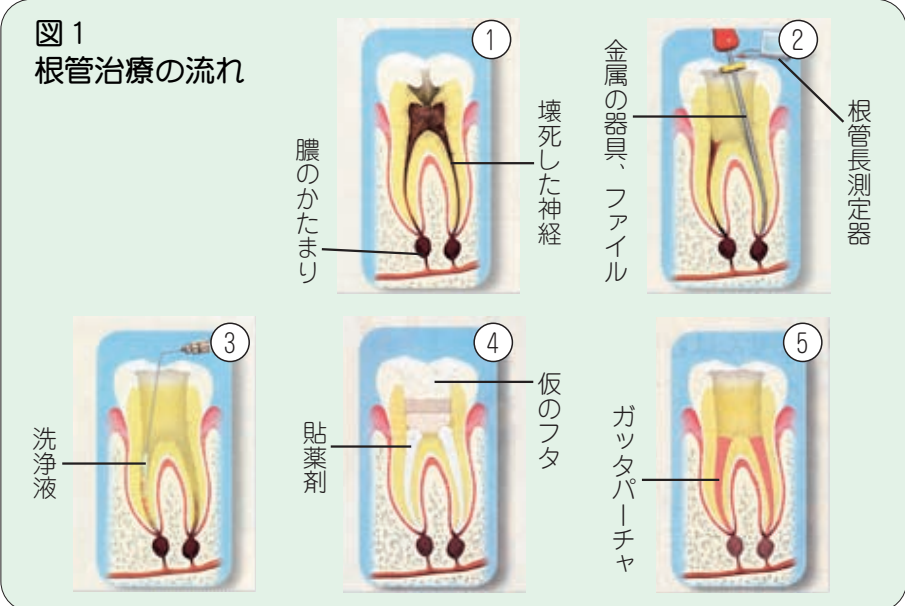


ですから、歯科医師が技を駆使して掃除し、後は薬剤で消毒するしかないわけです。そこで重要になってくるのが患者さんの抵抗力です。細菌を可能な限り取り除いた歯を最終的に治療に導いていくのはほかでもない患者さんご自身の抵抗力なのです。

このように、根っこの治療が成功するまでにはこうした様々な要素が絡み合っています。症状が進み炎症が強くなるほど来院回数も増え、成功率も下がってしまうので、普段から虫歯予防をこころがけ、お早目の来院をお願いします。

参考文献 nico 著者 澤田則宏

(相模原市歯科医師会 寺崎浩也)



**第7回かながわ お口の健康フォーラム**  
「健康な心と身体はお口から」  
～健口をリードする相模原市歯科医師会～  
相模原市歯科医師会では、10月にお口の健康フォーラムを開催します。  
日時 平成25年10月27日（日）正午～午後4時30分  
場所 社のホールはしもと 演題 「食育と健康」  
演者 東京医科歯科大学大学院教授 白田 千代子 先生  
ナグモクリニック総院長 南雲 吉則 先生  
問い合わせ 相模原市歯科医師会  
☎042-756-1501 <http://www.e-sda.jp/>

